

# よりそう

Side by Side



第36号

編集責任：筒井

編集担当者：ペコ・筒井・新谷・大西

## 投稿記事

### 復興地で出会ったいのち

4月、サンマ隊で行った陸前高田。靴や道具を洗った小川に天然の「ワサビ」の緑の鮮やかな葉が清々しかった。ワサビが生えているなんて清流！よく見るとキクサキイチゲの淡紫色の花びらが可憐に揺れていた。その隣にはクロバナエンレイソウ草(丹沢や秩父など)では白花エンレイ草をよく見るがこののはエンジ色で初めて見る美しさだった。高田の人に聞くとこのクロバナは美しく自慢とのこと。五月に久し振りに訪れた高田は桐の花が青空にむかってしっかり咲いていた。さすが岩手県の本だ。そして今日、釜石箱崎のKさん宅でガレキ撤去作業に参加させていただいたKさんは本来なら今は毎日海に出ている。今はオヤだ。こんなにおきなホヤになるのさとおタテウこととんを風に舞をるか如何にこの海が豊かだったかを力をこめて話してくれた。そしてその全てを失った今の辛さまでも復讐するから必ず釜石にまた来て帰ってくれとセロから再び出発するとの言葉は聞く者の心に強く響きました。その後ウラ山に案内してくれましたがそれは大事な山葉を見せてくれたため自慢のシドクがそこにはすくすく育っていました。そのシドクを見るKさんの嬉しそうな表情。高田でも釜石でも小さな野山の花。緑鮮やかな葉が復興地の人にとっては何ほほいとあしく、そして勇気を与えてくれるものだろう。と小さな花が小さないのちがまき、復興へのエネルギーになっていくと思えた。次にはどんな花達に会えるのかと思いつつまた6月にもボランティアさせてもらえたらと思う。

小野

## 車を1台、寄付して下さいました。



福田さんより寄贈されたラクティス

6/8(水)本日、ふれあい隊で1週間程活動された山口県から来ていた福田幸子さんが帰宅しました。福田さんはご自分の車でまごころネットまで来ましたが、帰りは電車で帰りました。なんと、ご自分の車をまごころネットに寄付していかれたからです。ふれあい隊で、これからもう使うはごびとなりまして。送る準備中で、被災者の方々と話をする中で、話りがあって、わからない言葉があっても、相手の言いたいことや気持ちが行って来た。それが一番うれしかったし、印象に残っている。ふれあい隊の活動も、これからかっと(一番)大事な時期になると感じます。今後も被災者のことを考えた活動を通じて、被災者の人達との絆が深まり、ニーズに応じて長くより活動になっていって欲しい。そのために車を使ってもらえるならうれしいです。と話していました。

## 独で日本の状況説明を

ドイツのベルリンから来たボランティアのバウアーさん。遠野には5月23日から2週間滞在し、ボランティア活動に汗を流しました。なせバウアーさんは、ドイツからはるばる来て来たのでしょうか？

バウアーさんは2002年、ベルリンに日本車門の旅行会社を設立して以来、ツアーのリーダーとして、毎回約6回も来日しています。遠野にもツアーで何度も訪れたことがあるそうです。ところが、バウアーさん

いわく「震災と原発事故以来ツアー客がひとりもいなくなりました」こともあり、今回ボランティアに参加。9月に再び遠野に来て、ボランティア活動に従事する予定だそうです。

北海道大で経済学の修士号を取得し、同大で助手を勤めたこともあるなど、日本経験豊富なバウアーさん。今回ドイツに帰国後は、「ベルリンの日独協会では日本の状況を説明する」と意気込みを語ってくれました。

## お知らせ

- シャワー室に使用した物のゴミを置きっぱなしにしないで下さい。
- 体調の悪い人は社会福祉協議会の受付に相談して下さい。
- 明日6/9(木)朝から女子の荷物は体育館へ移動しましょう。

6/8(水)天気 晴時々曇

気温 14.5 21.0℃

降水確率 0.5%

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

6/9(木)ボランティアミーティングはPM5:30~@体育館  
6/8(水)の宿泊:160人、活動力:210人